

科目区分：中等教育コース（家政教育専攻）

科目名：被服学（2019）

令和元年度「被服学」授業評価・授業研究報告

家政教育・眞鍋 郁代

1. 授業の基本情報・概要

本授業は学校教育教員養成課程中等教育コース家政教育専攻における専門科目であり、家庭科免許取得のための必修科目の一つとなっており、この授業を履修した理由について、8名の家政教育専攻以外のコース・専攻学生が「(二種を含む)家庭科免許取得のため」と回答している。

本年度の受講学生は、1回生19名、2回生6名、4回生4名の合計29名である。内訳の詳細は、1回生が小サブ12名・中等家政4名・中等国語1名・特別支援2名、2回生は小サブ5名・中等音楽1名、4回生は小サブ2名、特別支援1名、総合・生環（過年度）1名となっている。

衣服の素材となる繊維の性質ならびに衣服の管理に関する基礎的な知識を習得し、理解を深めることと、被服製作に必要な初歩的技術を習得することが、この授業の概要であり、ここで得た知識を自身の快適な衣生活のために生かすことを目標としている。講義形式の授業で衣服材料の成り立ちや性能、原理などについて発問形式を取り入れてまず気づきの場面を入れ、配布資料などを読んで確かめ、図や写真、実物観察などによってわかるように工夫し、さらに簡易なモノづくり等によって考え・応用できるように組み立てている。

<授業スケジュール>

1. 基礎縫い（手縫い）実習（1）布の取り扱い、用具の使用方法
2. 基礎縫い（手縫い）実習（2）手縫い方法
3. 糸の構造（1）撚り方向と種類、糸の太さの単位
4. 糸の構造（2）糸の重さ・長さ計測による糸の太さ算出
5. 織物の構造 織り物の種類、性質、観察
6. 編物の構造
7. 天然繊維の性質（1）植物繊維
8. 天然繊維の性質（2）動物繊維
9. 化学繊維の性質（1）再生繊維と半合成繊維

維

10. 化学繊維の性質（2）合成繊維
11. 洗たくに関する学習 衣服につく汚れの特徴、性質、界面活性剤、補助剤の性質
12. 平面構成の衣服（和服）に関する学習
13. ミシンを使った製作実習（1）ミシンの使用方法
14. ミシンを使った製作実習（2）小物の製作
15. 試験・まとめ

2. 授業評価・授業研究の内容

調査項目を以下に述べる。またそれぞれの質問項目における回答人数も（ ）内に併記した。

授業アンケートに回答した学生数は28名となっている。

A あなた自身についてお聞きします。

(1) この授業にどのくらい出席しましたか。

- ①全部（13名）
- ②1,2回欠席（14名）
- ③3,4回欠席（0名）
- ④5回以上欠席（0名）
- ⑤わからない（1名）

(2) この授業に関して授業時間外の学習時間は、1回の授業ごとにどのくらい行いましたか。

- ①2時間以上（1名）
- ②1～2時間（1名）
- ③30分～1時間（11名）
- ④30分未満（15名）

(3) 授業に対して意欲的に取り組みましたか。

- ①十分に取り組んだ（5名）
- ②かなり取り組んだ（10名）
- ③普通（13名）
- ④あまり取り組まなかった（0名）
- ⑤取り組まなかった（0名）

(4) この授業を履修した理由

- ①科目名（12名）
- ②担当教員（0名）
- ③シラバスの内容（3名）
- ④時間割の都合（7名）
- ⑤その他〔自由記述〕（9名）「(家庭科)免許取得のため」（7名）「必修だから」（2名）

B 授業についてお聞きします。

(1) 先生の話し方（言葉・声の調子など）は適切でしたか。

- ①そう思う(9名) ②どちらかといえばそう思う(12名) ③どちらともいえない(4名) ④あまりそう思わない(1名) ⑤そう思わない(1名)
- (2) 板書やパワーポイントの字や図の表現は適切でしたか。
- ①そう思う(11名) ②どちらかといえばそう思う(14名) ③どちらともいえない(1名) ④あまりそう思わない(2名) ⑤そう思わない(0名)
- (3) 先生は学生が質問や意見を述べられるように配慮しましたか。
- ①そう思う(12名) ②どちらかといえばそう思う(8名) ③どちらともいえない(7名) ④あまりそう思わない(1名) ⑤そう思わない(0名)
- (4) 配布資料、教科書などの教材は適切でしたか。
- ①そう思う(14名) ②どちらかといえばそう思う(10名) ③どちらともいえない(3名) ④あまりそう思わない(0名) ⑤そう思わない(0名) ※回答なし(1名)
- (5) 授業の内容は興味関心が持てるものでしたか。
- ①そう思う(14名) ②どちらかといえばそう思う(11名) ③どちらともいえない(2名) ④あまりそう思わない(0名) ⑤そう思わない(0名) ※回答なし(1名)
- (6) 授業の内容は理解できるものでしたか。
- ①そう思う(13名) ②どちらかといえばそう思う(11名) ③どちらともいえない(3名) ④あまりそう思わない(0名) ⑤そう思わない(0名) ※回答なし(1名)
- (7) この授業を全体的にみたときに、どの程度満足していますか
- ①満足している(13名) ②どちらかといえば満足している(12名) ③どちらともいえない(2名) ④あまり満足していない(0名) ⑤満足していない(0名) ※回答なし(1名) (自由記述)

【この授業を受けて①最も印象に残っているところや内容、②初めて知ったことなどを具体的に挙げてください】

※主なものとして以下のようなコメントがみられた。

①最も印象に残っている内容等
ペットボトルホルダーの製作・ミシンを使った実習、ミシンの使い方がよく分かった、実際

に作品を製作することができた、楽しかった、できあがって感動した、先生になるからにはちゃんと復習しておこうと思った等(11名)
繊維、糸のつくり方(撚り)の違いについて、特徴がちがったり、布や衣服の性質に影響を及ぼすことについて知ったこと(4名)
手縫い(いろいろな縫い方を知った)(1名)
糸の太さの計算がおもしろかった(1名)
布の種類がたくさんあること、それぞれ性質が違うことにおどろいた(1名)

②初めて知ったこと

- ・糸の撚り(方向、性質など)について(6名)
- ・布にいろんな種類があることや性質や特徴にちがいがあること(3名)
- ・糸の太さの単位や計算の仕方、デニールの意味について(2名)
- ・取り扱い絵表示の変遷について、新しいもの変わったこと。(2名)
- ・浴衣の名称について、部位の名称、浴衣の種類について知ることができた。(1名)
- ・繊維により適切な洗剤がちがうこと。(1名)
- ・衣服につく汚れについて(1名)

3. 「地域社会を核とした教育と研究のつながり」について

昨年度に引き続き、「地域社会を核とした教育と研究のつながり」について、意識しながら授業をすすめた。①愛媛県教員採用試験問題を授業内容に反映させ、関連する研究成果についても併せて紹介するようにした。

②繊維産業の技術が生活に大きな影響を与えていることを示す事例を積極的に紹介した。
例) ラグビーワールドカップで使用されたユニフォームに使われている技術の紹介など。

4. その他の工夫

配布資料についての大幅な見直しをした。もともとは合理的配慮を要する受講学生のために始めたことだったが、使用する文字数を減らす努力をし、使用するフォントについて再考したところ、これまでより授業内容についての質問が増え、提出物の内容からも、クラス全体の理解度が上昇したことを実感した。これまで伝えたい知識の羅列になりがちであったが、学生が興味・関心をもつようにするためにも、授業の内容についてはもちろん、使用している教材についても継続して見直しをしていきたいと考えている。